

(注意) A4サイズ・横書き

<活動の様子>

写真が身近にある生活、
写真を適切にのこす方法を学ぶ連続講座



事業名 子どものために写真をのこすフォト講座

<目的>

近年、デジタルカメラやスマートフォンの普及によって、気軽にそして大量に写真が撮れるようになりました。しかし、その反面「写真をのこす」ということがないがしろになってきています。そこで、写真をのこすことに意識を向けていくことを目的としています。

<事業内容>

初めに、スマホカメラでの撮影テクニックを学んだ後、フォトブースにて講師のレクチャーを受けながら、保護者の方にお子さんを撮影していただく講座を開催しました。次にスマホやデジカメ、パソコンなどに点在しているデジタルデータや、紙焼き写真をまとめたアルバムなどを、適切に整理していく方法をお伝えし、最後にアドラー心理学を用い、写真をプリントして飾ることやアルバム作りの目的を明確にしながら、スクラップブッキング作品を制作しました。また、成果報告として、これらの事業の広報誌を作成し、現在写真を取り巻く問題の啓蒙を行ないました。

<市民の参画や他団体との連携>

STEP1 は親子 12 組、STEP2, 3 は 40 名の参加があり、回によってはキャンセル待ちも出ました。また、広報誌は、市民配送便を通じ多くの市民に手に取っていただくことができました。

<市民に対するPR>

昨年はこちら愛媛の地でも豪雨災害によって、濡れてしまった写真の像が消えてしまう、パソコンが水没してしまいデータが見られなくなってしまうなどの話を聞きました。写真を失うことは、非常時だけではなく、日常誰にでもおこりうることです。写真に残された市民の皆様の思い出や、そこに写る松山の風景がいつまでも残されるよう、今後も団体活動を継続していきたいと思っております。